

2 5 公民館における学級・講座等の実態に関する調査研究

研究代表者 馬場 祐次郎（社会教育実践研究センター センター長）

①研究の趣旨，ねらい

公民館における学級・講座等の学習内容等の実態を調査し、公民館活動の活発化のための基礎資料とするとともに、文部科学省及び国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが実施する講習等の内容充実等に資することを目的とする。

②研究成果の概要

市区町村教育委員会及び社会教育法第 21 条の規定に基づく公民館を設置する法人（1,840 市区町村及び 9 法人）、社会教育法第 21 条に基づく公民館（16,182 館）を対象に公民館における学級・講座等の学習内容等の実態について調査を実施した。その結果の概要は次のとおりである。

- 回答があった公民館 9,075 館のうち、平成 18 年度間に学級・講座等を実施した公民館は 77.1%(7,001 館)である。
- 一公民館あたりの平均学級・講座等は、平成 18 年度は 14.6 件で、平成 17 年度と比較して、1 館平均 1.2 件増えている。
- 学級・講座の分野別の実施件数では、「家庭教育・家庭生活」の分野が最も多く 30.0%(30,486 件)、次いで「趣味・けいこごと」の 25.9%(26,297 件)、「体育・スポーツ」の 11.9%(12,112 件)となっている。
- 平成 17 年度に実施された「現代的課題」に関する学級・講座等は、一館当たり平均 2.2 件である。「現代的課題」の中では、「同和問題・人権教育」が 23.3%(1,737 件)と最も多く、一館平均 0.5 件、次いで「自然保護・環境問題」13.5(1,009 件)、平均 0.3 件、「高齢化・少子化」11.4%(851 件)、平均 0.3 件が実施されている。
- 平成 17 年度に実施された「市民意識」に関する学級・講座等は、一館当たり平均 2.0 件である。「市民意識」の中では、「郷土の歴史・人物」が 34.4%(2,403 件)と最も多く、一館平均 0.7 件、次いで「地域防災対策・安全」14.3%(1,000 件)、平均 0.3 件、「郷土芸能」11.4%(794 件)、平均 0.2 件が実施されている。
- 平成 17 年度に実施された「指導者」に関する学級・講座等は、一館当たり平均 1.6 件である。「指導者」の中では、「各種指導リーダー養成」が 48.5%(688 件)と最も多く、一館平均 0.8 件、次いで「団体育成・運営」22.5%(319 件)、平均 0.4 件、「施設ボランティア養成」17.4%(247 件)、平均 0.3 件が実施されている。
- 平成 17 年度に実施された「一般教養」に関する学級・講座等は、一館当た

